

医療情報標準化推進協議会
平成18年度第一回理事会・総会議事録

日 時 平成18年7月7日(金) 14:00～15:10
場 所 オフィス東京 C会議室
出席者 理事；向井、遠藤、武隈、佐々木 (MEDIS)、石垣、安藤、村田 (JRS)、
大江、木村、豊田 (JAMI)、西村、吉村 (JIRA)、遠山、梅田、橋
田 (JSRT)、篠田、西村、丹治、下總 (JAHIS)
監事；赤松 (JIRA)、飯山 (JSRT)
正会員；蛭名 (日本 HL7 協会)、畠沢 (日本 PACS 研究会)、
稲田 (日本総合健診医学会)、高木 (日本病院管理学会)
個人会員；矢野
オブザーバー：厚生労働省
事務局；岡峯 (MEDIS)

議題

1. 出席理事および議決権行使理事の確認 (資料1)
2. 理事、正会員の交代について (資料3)
3. 厚生労働省ご挨拶
4. 前回理事会(2005.7.5)の議事録確認 (資料2)
5. 会則の変更について (資料4)
6. 標準化指針の提案について
7. 平成17年度事業報告について (資料5)
8. 平成17年度収支決算報告書(案)について (資料6-1)、会計監査報告 (資料6-2)
9. 平成18年度事業計画(案)について (資料7)
10. 平成18年度収支予算(案)について (資料8)
11. 第4回シンポジウムの開催について
12. 各幹事会員からの標準化近況報告

【配布資料】

- 資料1 幹事会員及び理事・監事名簿
資料2 平成17年度第一回理事会議事録
資料3 理事の異動、正会員担当の変更
資料4 会則の変更(案)

- 資料 5 平成 17 年度事業報告
- 資料 6-1 平成 17 年度収支決算報告書(案)
- 資料 6-2 会計監査結果報告書
- 資料 7 平成 18 年度事業計画(案)
- 資料 8 平成 18 年度収支予算(案)
- 資料 9 第 3 回シンポジウム 配布資料
- 参考資料 1 医療情報標準化推進協議会会則
- 参考資料 2 「医療情報標準化指針」提案申請に関するルール
- 参考資料 3 第 3 回シンポジウム掲載記事

議事内容

1. 出席理事の確認。

出席理事の確認がされ、定足数を満たし、理事会の成立している旨が確認された。引き続き、会則に基づき、議決権を有する理事の確認が行われた。

2. 役員の異動および担当の変更

役員の異動および担当の変更について原案のとおり承認された。また、保健医療福祉情報システム工業会から、議決権を篠田氏から丹治氏に変更すると報告があった。

3. 厚生労働省ご挨拶

厚生労働省 医政局研究開発振興課 医療機器・情報室長 千村氏より、ご挨拶があった。

また、6月22日付けで厚生労働省医政局長通知「書面に代えて電磁的記録により作成、縦覧等又は交付等を行うことができる医療分野に係る文書等について」(医政発第0622010号)が出たことが、木村会長から説明があった。

4. 前回議事録の確認

資料のとおり承認された。

5. 会則の変更について

事務局の所在地について、医療情報システム開発センター移転に伴い、「東京都文京区西片1-17-8」に変更することが承認された。

6. 提案申請について

事務局より、「患者診療情報提供書及び電子診療データ提供書 第一版」は、6月27日に理事会採択され、現在、正会員審議中であることが報告された。

7. 平成 17 年度事業報告について

事務局より資料のとおり事業報告があった。

8. 平成 17 年度収支決算報告書・会計監査報告について

事務局より、資料に基づいての説明と、監査報告書の確認があり、原案のとおり承認された。

9. 平成 18 年度事業計画について

木村会長より事業計画について説明があり、以下のような提案や意見が出され、承認された。

- ・ JAHIS の処方データ交換規約を申請したらどうかと木村会長から意見があり、検討することになった。
- ・ J-MIX は現在アップデート中である。
- ・ JJ1017 についても申請の準備が進んでいる。
- ・ 標準化レポートとすると発行手続きが必要となるので、手続きを必要としないものとして、HELICS ニュースを新たに設け、各団体が執筆し、シンポジウムで配布、ホームページに掲載、ホスピタルショウなどにも出すようにする。幹事会員団体は必須、正会員は任意とする。内容、粒度は問わず A4 一枚程度とし、雛形については事務局と豊田理事が案を作成する。提出期限は 9 月末頃とする。

10. 平成 18 年度収支予算について

事務局より説明があり、承認された。

11. 第 4 回シンポジウムの開催について

木村会長より、10 月 31 日（火）午後、札幌で医療情報学連合大会にあわせて開催の予定。内容は、厚生労働省、経済産業省の講演、パネルディスカッションを考えているが、企画案があれば出してほしいと説明があった。

12. 各幹事会員からの標準化近況報告について

MEDIS：武隈理事から、

- ・ 採択された標準規格の変更があった場合の手続きはどのようにすべきか。
- ・ 検診の運用コードは JLAC を使用することで進めている。臨床検査の名称の標準化がほぼ固まって委員会にかける段階にきている。
- ・ 看護については、行為と観察の 2 つのマスターの正式版として公開している。

と報告があった。

採択された標準規格の変更については、項目の追加など内容が変わったものは改訂手続きはいらぬが、内容の変更があった旨の通知を行う。また構造が変わる場合には改訂審査の手続きを要するなどの、「医療情報標準化指針」提案申請に関するルール」にメンテナンスに関する手続きを追加することを検討することになった。

JRS：安藤理事から、

・ IHE のチュートリアル、デモを開催し、啓蒙し PR している。2月にはコネクタソンの報告もしている。病院関係者およびベンダーを対象にワークショップは3回開催予定である。

と報告があった。

木村会長から、IHE レポートの発行を考えてほしいと要望があった。

JAMI：木村会長から、

JMIX の改訂をしている。健診データの標準化フォーマットを策定中で、院内がん登録データのフォーマットも策定中である。

と報告があった。

JIRA：吉村理事から、

- ・ セキュリティとモニター品質管理の2つのガイドラインを作成している。
- ・ ディスプレイの表示パラメーターの規定、患者氏名の日本語対応などを検討している。

と報告があった。

JRST：梅田理事から、

JR3C の活動の一環として IHE-J、JJ1017 を、また、モニターのガイドラインの規格作成も一緒に検討した。運用については **JR3C** で検討することを進めている。と報告があった。

JAHIS：篠田副会長から、

6月7日に体制が日立から富士通になり、標準化推進部を設けた。相互運用性事業を進めている。7月2日付の日経新聞にあるように、経済産業省は電子カルテを病院間で情報共有するシステムの実証事業を行うが、**JAHIS** が中心となり病院間で情報を共有するための標準仕様を決める。また、内視鏡や病理画像関係の会員で **JIRA** の会員になるのは敷居が高いと感じている方々から **JAHIS** が **DICOM Standards Committee** のメンバになって欲しいとの要望が出され、メンバになる

ことになった。画像の標準化に必ずしも強い会員がそろっているわけではないので、JIRA と歩調を合わせて対応していきたい、と話があった。

日本 HL7 協会 : 蛭名氏から、

- ・ 年3回セミナーを開催しており、次回は7月14日で厚生労働省千村室長の講演も予定している。
- ・ 医療情報学連合大会までに、HL7Ver.3 を和訳する作業を進めている。
- ・ モダンホスピタルショーでは相談ブースを設ける。

日本 PACS 研究会 : 畠沢氏から、

- ・ IHEJ と共同の WG を開催している。
- ・ 心電図 WG で規格作成を進めている。

日本総合健診医学会 : 稲田氏

メタボリックシンドロームなど話題になっているが、情報面の標準化に向けて検討が必要になっている。

日本病院管理学会 : 高木氏

理事長が大道先生から、池上先生に代わった。

13. その他

木村会長より、官庁の当協議会での位置づけは、単なるオブザーバーではなく、投票権はないが政策的な意見をいただく新たなカテゴリーを作ったらどうかと意見があった。

厚生労働省千村室長より、標準規格決定に参加できないが、役所の考えを言えるのはよいと考えている。何らかの形で議論に参加したいと意見があった。

豊田理事より特別会員ではどうか、遠藤理事より、厚生労働省が会員になるためには名義使用許可が必要で調整する時間が必要との意見があり、引き続き検討していくこととなった。